

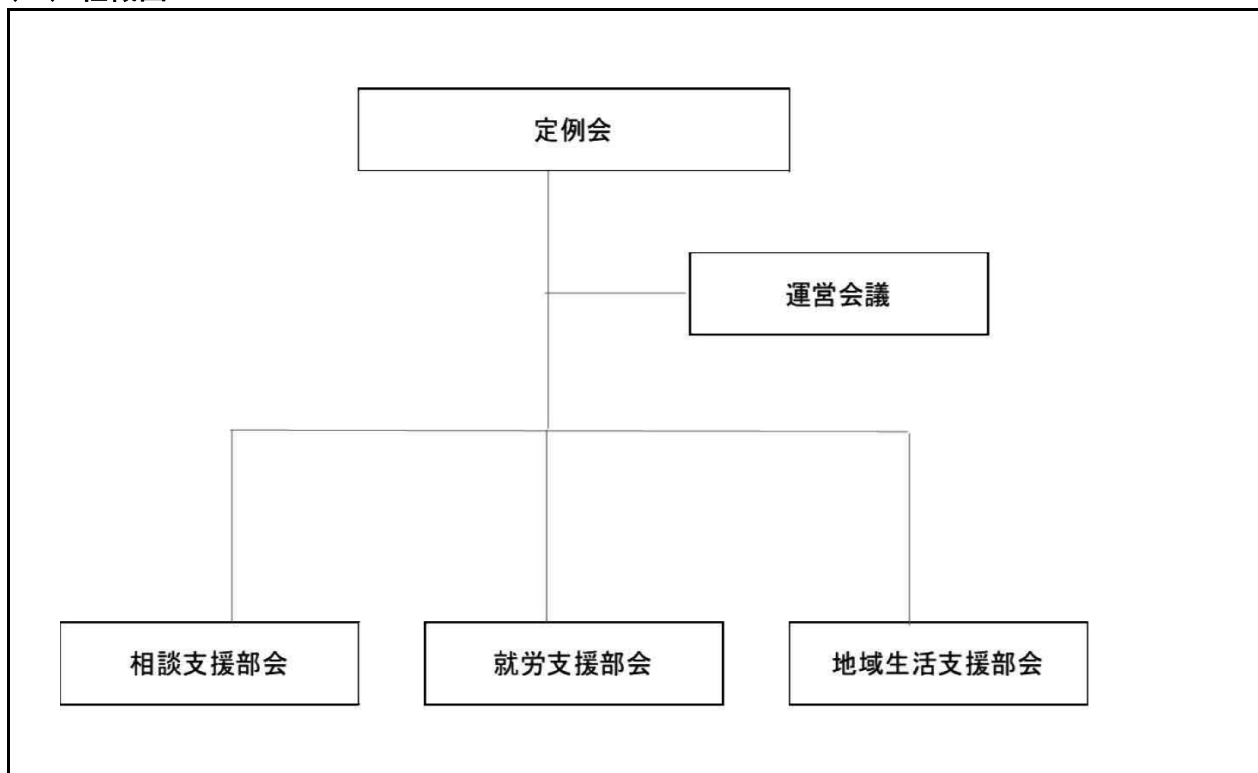
東村山市

1 地域自立支援協議会の基本事項

(1) 名称 東村山市障害者自立支援協議会

(2) ホームページURL <https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/shisei/keikaku/shingikai/fukushi/jiritsushien.html>

(3) 組織図



(4) 会議実施方法等

ア 開催方法

全体会	集合形式	専門 部会等	ハイブリッド形式（集合とリモートの双方に対応した方法）
-----	------	-----------	-----------------------------

イ 開催時間

全体会	平日日中（業務時間内）	専門 部会等	平日日中（業務時間内）
-----	-------------	-----------	-------------

2 地域自立支援協議会の委員

(1) 委員名簿

No.	役職	氏 名	所属	種 別	備考	経験 年数
1	会長	永嶋 昌樹	日本社会事業大学	学識経験者		4
2		鈴木 朋恵	東京都多摩小平保健所	保健所		1
3		村瀬 崇	多摩あおば病院	医療関係者		10
4		徳田 尚美	東村山市社会福祉協議会	社会福祉協議会		2
5		矢嶋 拓	地域生活支援センターふれあいの郷	相談支援事業者		2
6		谷廣 賢成	東村山市障害者就労支援室	障害福祉サービス等事業者		2
7		松本 恭子	あゆみの家	障害福祉サービス等事業者		10
8		芦崎 康彦	福祉事業センター	障害福祉サービス等事業者		10
9		吉田 謙	こすもす	障害福祉サービス等事業者		2
10		田宮 良	ホームヘルプサービスサンケアネット	障害福祉サービス等事業者		10
11		田添 敦孝	SLPセンターアーク	障害福祉サービス等事業者		1
12		長谷川 友子	東村山市知的障害者相談員	身体・知的障害者相談員		2

(2) 委員構成

種 別	全体会・ 部会名	全体会	相談支援 部会	就労支援 部会	地域生活 支援部会
学識経験者		1			
医療関係者		1			3
保健所		1			
教育関係機関		0		3	
雇用関係機関		0			
企業		0			
障害当事者（ピアサポーター含む）		0			
家族・関係団体		0			
身体・知的障害者相談員		1			
相談支援事業者		1	13		1
障害福祉サービス等事業者		6		3	19
社会福祉協議会		1			
法曹関係者		0			
民生委員・児童委員		0			
地域住民		0			
行政職員（区市町村）		0			
行政職員（都）		0			
その他		0		1	
計		12	13	7	23

3 地域自立支援協議会の活動状況

(1) 地域自立支援協議会での協議事項（複数回答）

① 相談支援事業の運営体制に関すること。

部会で作成した相談支援ハンドブックを使って、相談支援の流れや手続きを確認した。

② 就労支援に関すること。

就労支援部会にて、B型施設の紹介動画の活用、地域の事業所の研修交流の企画・検討を行った。

③ 地域移行・地域定着支援に関すること。

協議会研修会にて、「にも包括」と地域移行をテーマに研修会を開催した。

④ 高齢者福祉サービスとの連携に関すること。

「障害から介護への移行」をテーマに、相談支援部会とケアマネージャーとの交流研修を行った。

⑥ 困難事例等の解決に向けた検討に関すること。

相談支援部会で事例検討を行った。（4回）

⑩ 地域生活支援拠点等の整備に関すること。

地域生活支援部会にて、拠点对象者を含む緊急事例の検討等を行った。

⑪ 障害福祉計画等に関すること。

障害者福祉計画、障害福祉計画、障害児福祉計画策定にあたり、協議会及び各専門部会から意見聴取を行った。

(2) 地域自立支援協議会としての役割（複数回答）

② 情報共有・情報発信

市報やホームページを活用して、障害のある方への理解啓発などの記事を掲載し、市民などへの周知を図る。

⑤ 地域課題の整理

各専門部会で地域課題を抽出し、定例会で共有整理を行う。

⑥ 課題解決に向けての検討

専門部会で課題解決に向けた検討を行う。

⑨ 構成員の資質向上・研修の場

協議会で研修会を実施する。

(3) 地域自立支援協議会として把握している地域課題

ア 個別の困難事例の把握・検討（複数回答）

⑤ 個別の困難事例を取り上げたことはない。

専門部会では共有している。

イ 地域課題に対して取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等（複数回答）

⑤ 福祉人材(マンパワー)の確保

地域生活支援部会にて、「障害福祉の就職相談会」を開催した。
また、東村山市の障害福祉の魅力発信を目的として、近隣にある日本社会事業大学の大学祭出展（東村山市内の法人の事業紹介、障害理解啓発、市内のB型事業所の自主製品の販売など）

ウ 地域課題の中で、広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える課題

特になし。

4 地域自立支援協議会の活性化

(1) 地域自立支援協議会活動の評価

ア 全体会・専門部会等の評価

全体会	一概には言えない。	専門部会等	ある程度活性化した。
-----	-----------	-------	------------

具体的な内容

部会報告が中心で、全体会で協議するような議題があがってこない。また、地域課題や個別事例の検討ができるような体制ができていない。

イ 活性化したと評価する理由

・次期計画策定にあたり、全体会や、専門部会から障害者福祉計画推進部会に意見提案できた。
・専門部会では、事例検討を取り入れたり、他分野との交流を行ったりと内外のつながりの強化が進んでいる。また、今まで地域になかった活動（B型事業所の研修交流）などの話もでてきている。

ウ 活性化するための今後の取組

専門部会で抽出された地域課題や個別事例の検討を全体化で検討できる体制を整備する。
（専門部会委員から定例会にあげるための共有シートなどの活用）

(2) ICTの活用

必要に応じてオンライン会議を実施できる体制がある。
（コロナ禍ではハイブリッド形式でグループワークを含んだ研修会を実施）